

マゴソ通信



「夢」を諦めない！

7月に下関で My Dream～フィリピン・ミンダナオ子ども図書館とケニア・マゴソスクールの子どもたちの絵画展を開催した。大学生の時に二度マゴソスクールを訪れ、卒業後にミンダナオ子ども図書館のスタッフになった西村奈々子さんがそれぞれの子どもたちに My Dream をテーマに描いてもらった絵で、それぞれの子どもたちは厳しい生活環境の中で育っているのに、そこに描かれる「夢」は明るく、希望に満ちている。

マゴソスクールを支える会は、そんな子どもたちの「夢」を実現できるように、少なくとも「夢」を諦めざるを得ないことの無いようにと願い応援して来た。しかし、現実にはマゴソスクールが発展していくに伴い、またケニアの教育制度の改革、また円安を始めとした日本側の課題などで十分な支援ができていないのが現実である。一つは扱う金額が大きくなりすぎ、任意団体での活動としては限界があること、かと言って法人化を行うと支える会の誇るべき特徴「会費・寄付の全てをマゴソスクールに送金する」つまりは会の維持・活動の費用には利用しないことが損なわれる可能性があり、柔軟な対応ができなくなるのが危惧され、もちろん人材不足もあって踏み切れなかった。

かつてはマゴソスクールに関わることは何でもかんでも支援して来たが、現在は学校の「通常の」運営に関わる経費、ジュンバラワトトノの運営費、卒業生支援の一部に限定せざるを得ない状態であった。そこに中学校の整備に係る建物・人材・設備を導入維持することが突きつけられたわけである。ケニアの教育制度が目まぐるしく変わっていくところは従来からあった訳で、子ども一人一人にリコーダーが必要だと大騒ぎしたことが今では懐かしく、微笑ましく思い出される位である。

結局、2ページの早川千晶さんからのメッセージにあるように残念ながら中学校の設置は断念することになり、「夢」を諦めざるを得ない子どもたちが出てくるかもしれないと思うと、自らの力の無さを思い知らされ、悔しくて仕方がない。

このマゴソスクールの改革が良い方向に進むよう、またマゴソスクールを卒業した子どもたちが胸を張って「夢」を追い続けられるように一層の支援をお願いすると共に、支える会としても新たな一歩を踏み出せるように努めます。感謝を込めて・・・

会長 大城研司

会費がマゴソスクールを支えています！！

- ・会費の納入が遅れている（未納入の）サポーターの皆様、会費の納入を何卒宜しくお願い致します。
- ・会費の領収書は発行しておりませんが、必要な場合は事務局までお知らせください。

納入に便利な以下の方法もございます。

◆郵便貯金口座をお持ちの方は「郵便局自動送金サービス」ご利用いただけます。月額のお金にのみご利用頂けます。郵便局にてご自身で手続きをお願い致します。

<送金先口座情報>

加入者名：マゴソスクールを支える会 口座番号：12230-33000581

◆クレジットカード

ご利用可能なクレジットカードは、VISA、MasterCardで、「日本円」での請求となります。HPよりお申込みいただけます。

・納入方法を変更された場合は、事務局までお知らせください。

会費・寄付振込先

【郵便局】

マゴソスクールを支える会
口座番号: 00810-9-216335
(記号: 00810 番号: 216335)

【ゆうちょ銀行】

マゴソスクールを支える会
0八九 (ゼロハチキュウ) 店
当座 0216335

大口の寄付の場合は、事前に事務局にお知らせいただきますようお願いいたします。

給食、OBOG、クリスマス会、音楽大会など、寄付の目的を指定していただくことも可能です。

マゴソスクールを支える会事務局

〒511-0044 三重県桑名市大字萱町5 4-1

Mail: info@magoso.jp HP: <http://magoso.jp/>

Facebook: <https://www.facebook.com/magososupportersclub/>



さよなら。
また明日！

マゴソスクール・2025年度からの展開

今までも会報でお知らせしてきたように、新教育課程CBC（小学校が6年制、中学校が3年制、高校が3年制）への移行が進んでおり、マゴソスクールでも、現在2学年の中学生が学んでいます。今回、この中学校に関して、早川千晶さんよりお知らせがありました。以下にそのお知らせの要約をお伝えします。支える会として中学校進学支援をどのようにしていくかは、今後、検討していきたいと思えます。

「中学校」は今回の教育改革で新しくできるものであり、その方針が政府のほうでもなかなかはっきりと決まらず、これまですでに2年間を試行錯誤でやってきましたが、だんだんと政府の方針もはっきりしてきて、マゴソスクールもケニア教育省から様々な指示を受けることとなりました。

まず、中学校は別の学校として組織せねばならないということ（校長や教頭は小学校と兼任不可、新システムの中学教諭としての訓練を受けた専門の先生の多数雇用、様々な設備（例えば理科の実験室、家庭科室、農業指導のための器具など）を設置）です。政府が推進する教育改革ですが、設備投資にかかる費用はマゴソスクールのような民間のレスキューセンターには政府からは一切の資金的な支援はありません。これまでも、新システムの小学校教育のための設備投資に、最大の努力をしながらあの手この手で資金を捻出し、なんとかここまで対応してきましたが、中学校ではあまりにも大掛かりな設備投資をしなければなりません。また、中学校を建設するための敷地も確保が難しい状態です。

小学6年生以降を彼らがどのように生き抜いていくか、マゴソスクールで中学校をやらなければ彼らにはどこにも行く場所がなくなると思うと、まさに夜も眠れぬほど非常に悩ましく思ってきました。何とか中学校をマゴソスクールに新規で建設して設置するための道を作り出すことを夢見て、ありとあらゆる可能性を探って様々な努力を積み重ねてきましたが、2024年春初夏の日本ツアーを終え、ケニアに帰ってきてからすぐ、リアンとの話し合いを重ね、違う方針が見えてきました。

結論は、マゴソスクールには中学校は設立せず、6年生までの小学校としての運営を充実させるということです。6年生を卒業した生徒は、マゴソスクールではなく、すでに中学校を設置できた学校へと進学をしていくように促し、その費用を捻出できないような最底辺の困窮家庭の生徒たちをこれまでのマゴソOBOG支援と同じように支援していく方法を取りたいと思えます。

2025年1月からのマゴソスクールは、以下の形で運営し、キベラスラムのコミュニティをこれまで通り支援していきたいと思えます。

- ① マゴソ幼稚園 (PP1, PP2)
- ② マゴソ小学校 (1年~6年)
- ③ 特別支援学級
- ④ 洋裁訓練所と作業所
- ⑤ マゴソ美容専門学校
- ⑥ マゴソ MYC TECH ACADEMY
- ⑦ マゴソファミリー (キベラスラムの子どもの家)
- ⑧ ジェンバ・ラ・ワトト (ミリティーニ

村の子どもの家) ⑨ マゴソコミュニティ給食

⑩ マゴソ OBOG クラブ (中学・高校・大学・専門学校の奨学金支援) ⑪ コミュニティ支援 (食糧、医療)

⑤、⑥、⑪ (一部) は、現在、支える会の支援の対象ではありません。

来年からはマゴソスクールでは小学6年生が最高学年となりますが、学年が2学年分、少なくなる代わりに、小学校教育と、幼い子どもたちのレスキューを、今まで以上に充実させていきたいと思えます。これまでオーバーキャパシティで受け入れることができないでいた低学年の子どもたちも、もっと受け入れることができるように、スペースを作りたいと思えます。また、マゴソ OBOG クラブに中学生も加わり、ジェネレーションを繋ぎ、キベラスラムのコミュニティの底上げと若者たちの指導にさらに情熱を注いでいきたいと思えます。

マゴソスクールはこれからもより一層、子どもたちに良き精神性と道徳的な教育をほどこし、社会のために役に立つことのできるより良い人材を生み出していくための教育の促進に尽力していきたいと思えます。子どもたちが、貧困苦や飢餓から解放され、幼い頃から人間としての良きものにたくさん触れ、学び、夢を持ち、世界に視野を広げていくことができる教育の場を、キベラスラムの仲間たちと共にこれからも大切に育てていきたいと思えます。

マゴソスクールが1999年に設立してから26年目となる2025年には、マゴソスクールもまた新しいステージへと進んでいきます。キベラスラムの粗末な長屋の一室で、20名の子どもたちが集まって始まった寺子屋だったマゴソスクールが、25年間でここまで成長することができたのは、多くの皆様がその真心を寄せてくださったおかげです。心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

キベラスラムでは、国の混乱状況の中で、さらに貧困度が増し、生活の困窮が増している家庭が多々あります。困窮している人々には、助けの手を差し伸べたいと心から思えます。そのために、今後もまた引き続き、お力添えをいただけるようだと大変ありがたいです。今後共どうかよろしくお願ひ申し上げます。



音楽大会に向け、準備中 オギラ先生が戻ってきました。

マゴソニュース

1月24日 新しくマゴソからジュンバに子供たちが移住

モンバサ近郊のミリティーニ村で2004年から運営している子どもの家 Jumba la watoto。キベラスラムの生活状態が困難な子どもたちと、ミリティーニ村の地元の子どもたちで孤児や困窮児童を保護してみんなで力を合わせて生活しています。卒業生もたくさん、よく遊びに来るビッグファミリーです。気候も環境もまったく違うところで、ワクワクしている子どもたちです。

お昼の給食の豆の選別

小石や殻や悪い豆を取り除く作業を毎日やる。大変だなあ～マゴソスクールの給食、毎朝シコクビエのおかゆを25キロ、お昼には豆とトウモロコシの煮込みのギゼリを100キロ炊きます。子どもたちの元気の源の大切な給食です。キベラスラムの子どもたちや貧困者のための給食は「マゴソスクールを支える会」に寄付をしていただく数多くの人々のお気持ちによって支えられています。いつもありがとうございます。

マゴソスクールの特別支援学級

脳性麻痺、知的障がい、ダウン症、聴覚障がいなど、仲間たち11人と先生1人、介助スタッフ2人でやっています。いつも元気いっぱい頑張っています。先生に助けられながらマット作っています。めっちゃカラフルで可愛い～！完成したら売って、活動資金にしたいそうです。是非応援してください～！

4月13日 OBOGクラブ恒例の学期末ミーティング

大学生たちが高校生たちのメンターとなり、そこに早川さんやダン先生、リリアンも入り、高校生たちのかかえる問題について聞いたり、夢を語ったり、悩みの相談に乗ってアドバイスしたり、時には喝を入れたり、楽しい活動を一緒にしたり、など、活発なグループ活動を行います。

このマゴソ OBOG クラブも、今では17期生までいます。17年間続けてこられたのは、彼らの進学のための学費支援をしてくださる多くのサポーターたちがいてくれたおかげです。皆様本当にありがとうございます。

1月に高校に入学したばかりの17期生は、大切にされてきたマゴソスクールでの環境とはあまりにも違う高校生活に戸惑っていてもいる様子でしたが、これが4年間経つと、見違えるようにしっかりと、顔つきや発言の内容もまったく違ってきます。過酷な高校生活の中でも様々な活動を楽しみ、勉学に励み、たくましくなります。そこには、このミーティングでの助言があるからだと思えます。

4月21日 マゴソファッションショー2024春

多くの卒業生たちや保護者も集まり、とても楽しい時間を過ごしました。子どもたちにとって忘れられない一日になったと思えます。

このファッションショーは、マゴソスクールの子どもたち、若者たち、先生やスタッフたち、近所の人々にとって、とても大きな意味のあるものです。何週間も毎日練習に練習を重ねて、準備し、この日を迎えたら、数多くの来賓客を前にして背筋を伸ばし、堂々と歩き、ポーズを取り、拍手喝采を浴びます。その経験がどれほど彼らに大きな力をくれるかという、言葉に尽くせません。ファッションショーのときは必ずごちそうを作り、キベラスラムの近所の人々や子どもたちにも振舞います。晴れやかで一体感のある喜びに満ちた一日です。写真と動画は早川さんのfacebookのアルバムでご覧ください。



支える会からのお知らせとお願い

- 👉 2024年7月現在のサポーター数は530名です。
- 👉 ご友人等にご紹介のため、パンフレット・会報等をご入用の場合は事務局までご連絡ください。
- 👉 会報は、会員の方、寄付を頂いた方、様々な形でご支援して下さる方に送らせていただいております。会報が重複して届いていたり、不要な場合は事務局までお知らせいただければありがたく思います。
- 👉 振込用紙は発送作業の都合上、全員に入れさせていただいております。ご了承ください。
- 👉 専従スタッフがおられませんため、ご寄付のお礼(領収書)の発送が遅れますことお詫び申し上げます。
- 👉 マゴソスクールへの支援物資は、支える会では受け付けておりません。

2023年 会 計 報 告

【日本側の収支報告】

自 2023年 1月 1日 至 2023年 12月 31日

(単位:円)

収 入 の 部			支 出 の 部			
年 月	項 目	金 額	年 月	項 目	金 額	備 考
2023/01	前年度繰越	5,967,544	2023/01	ケニアへ送金	990,165	
2023/01	1月入金額	6,333,369	2023/02	ケニアへ送金	1,980,330	
2023/02	2月入金額	1,418,883	2023/03	ケニアへ送金	1,980,330	
2023/03	3月入金額	1,591,889	2023/03	MORO教育基金	1,000,000	
2023/04	4月入金額	1,149,560	2023/04	ケニアへ送金	990,165	
2023/05	5月入金額	936,845	2023/05	ケニアへ送金	1,980,330	
2023/06	6月入金額	1,049,077	2023/06	ケニアへ送金	990,165	
2023/07	7月入金額	3,004,520	2023/07	ケニアへ送金	100,165	
2023/08	8月入金額	1,069,629	2023/08	ケニアへ送金	2,970,495	
2023/09	9月入金額	898,925	2023/09	ケニアへ送金	2,970,495	
2023/10	10月入金額	925,244	2023/10	ケニアへ送金	2,040,495	
2023/11	11月入金額	1,603,500	2023/11	ケニアへ送金	1,390,330	
2023/12	12月入金額	2,301,891	2023/12	ケニアへ送金	960,165	
				小計	20,343,630	
				次 年 繰 越	7,907,246	
	合 計	28,250,876		合 計		28,250,876

【日本側収入の内訳】

(単位:円)

収 入	項 目	金 額
	前年度繰越	5,967,544
	会費	6,488,889
	一般寄付	12,111,378
	給食募金	1,126,502
	給食募金(募金箱)	386,933
	特別学級支援	180,000
	クリスマス寄付	166,291
	OBOG支援	292,000
	グッズ売上	1,431,305
	その他	100,000
	利子	34
	総収入	28,250,876

皆様からの会費やご寄付はすべてマゴソスクールに送り、会報の印刷・郵送には使っておりません。未使用切手・未使用はがき・書き損じはがきを事務局までお願いいたします。使用済み切手・外国の切手等は郵送に使えませんので、ご注意ください。
2023年12月から2024年4月に送っていただいた未使用はがき・切手と書き損じはがきの合計金額は**48,647円**でした。お送りくださった皆様、本当にありがとうございました。

※早川千晶さんが行っている講演会、トーク&ライブ、スタディツアーなどに関するお問い合わせは、支える会ではなく、早川さんまで直接お問い合わせください。
※早川千晶さん主催のイベントの収益は「マゴソスクールを支える会」への寄付にはなりませんので、お知りおきください。

【ケニア側の収支報告】

自 2023年 1月 1日 至 2023年 12月 31日

※支出は支える会が送金した寄付金の用途であり、マゴソスクール全体の会計ではありません。

(単位:ケニアシリング)

収 入 の 部			支 出 の 部 ※		
年 月	項 目	金 額	項 目	金 額	備 考
2023/01	前年度繰越金	-2,882,464	マゴソ職員給料	6,984,760	
2023/01	支える会から送金	939,147	マゴソ職員福利厚生	879,734	
2023/02	支える会から送金	1,874,859	マゴソ給食費	6,002,818	
2023/03	支える会から送金	1,952,134	マゴソファミリー生活費	932,927	
2023/04	支える会から送金	984,715	ジュンバラワトト経費	1,343,005	
2023/05	支える会から送金	1,940,387	特別学級	135,000	
2023/06	支える会から送金	954,474	マゴソグッズ経費	1,165,857	
2023/07	支える会から送金	920,000	音楽大会	502,150	
2023/08	支える会から送金	2,921,050	個別支援	102,558	
2023/09	支える会から送金	2,904,982	文房具・教科書・試験費用	489,225	
2023/10	支える会から送金	2,005,932	その他	229,617	
2023/11	支える会から送金	1,386,628	手数料	1,430	
2023/12	支える会から送金	998,894			
	現地商品売上	261,810			
			小 計	18,769,081	
			次 年 繰 越	-1,606,533	現地立替
	合 計	17,162,548	合 計	17,162,548	